

第14期 田川地域
未来の地域リーダー
育成プログラム

会場
いいかね
Palette

田川飛翔塾 活動報告書

the 14th cohort of Hishojuku

2025
8.18 MON
19 TUE
20 WED
21 THU
4日間のプログラム









主催

田川地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会
田川市/香春町/添田町/糸田町/川崎町/大任町/赤村/福智町/福岡県

後援

福岡県教育委員会

● プログラム Program

1 DAY / 出会いと理解のプログラム	2 DAY / 分析と体験のプログラム
<p>09:00.....受付/入塾式</p> <p>10:00.....オリエンテーション</p> <p>13:00.....接遇研修</p> <p>14:00.....講義 01</p> <p>15:30.....講義 02</p> <p>17:00.....講義 03</p> <p>20:00.....対話ワーク 01</p>	<p>08:00.....チームビルディング</p> <p>09:00 課題解決グループワーク 01</p> <p>13:00 課題解決グループワーク 02</p> <p>20:00.....対話ワーク 02</p> <p>課題解決グループワーク 01</p> <p>課題解決グループワーク 02</p> <p>CHIKUSKI(株式会社BOOK) 編集長 馬場 健太氏</p> <p>365WORKS 代表 藤井 友貴氏</p> 
3 DAY / 思考を磨くプログラム	4 DAY / 発表と宣言のプログラム
<p>08:00 課題解決グループワーク 03</p> <p>13:00.....プレゼン講習</p> <p>14:00.....プレゼン作成 01</p> <p>17:00.....中間プレゼン 01</p> <p>20:00.....作文ワーク</p> <p>課題解決グループワーク 03</p> <p>(一社)Local Education 代表理事 北 敢氏</p>  	<p>08:00.....プレゼン作成 02</p> <p>13:00.....プレゼン+個人発表 卒塾式(保護者参観)</p>   

5 About the Instructors 人の田川飛翔塾

講師紹介

田川で活躍する講師陣による
中学生の心に火を灯す
飛翔塾だけの特別授業。

株式会社オープンゲート
代表 **中山 雄介氏**

key word #Uターン
#酒造 #起業


福智町出身。防衛大学校国際関係学部卒業後、海上自衛隊幹部候補生学校に入校。複数の企業を経て2015年に楽天入社。食品飲料ジャンルの戦略部長として国際事業を推進。2022年、日本産酒類や食品の国内外販路拡大を支援する「オープンゲート」を設立。現在は福智町に「天郷醸造所」を開業し、地域貢献にも力を注ぐ。



福岡県立大学
教授 **佐野麻由子氏**

key word #大学教授
#社会学
#強み弱み

2006年3月立教大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程修了。博士(社会学)の学位を取得。お茶の水女子大学非常勤講師、フェリス学院大学非常勤講師、立教大学社会学部助教等を経て2012年10月に本学着任。専門は国際社会学。ネパールのジェンダー、開発をテーマに研究を行っている。



(一社) 筑豊eスポーツ協会
設立
理事 **藤永 哲嗣氏**

key word #eスポーツ
#税理士
#学生とコラボ


下関市出身。70年の歴史を持つ税理士法人統合経営システムパートナーと出会い、田川市へ移住。2014年に田川とアジアをつなぐ法人を設立し、シンガポールへ。帰国後、地方企業のデジタル化の必要性を感じ、地域の学生を未来のデジタル人材として育成するため、筑豊eスポーツ協会を設立。「世界と戦える田舎」を目指し活動している。



365 WORKS
代表 **藤井 友貴氏**

key word #インテリア
#設計
#古材古道具

岡山県生まれ。大阪モード学園でインテリアを学び、関西や東京の設計事務所や工務店、無印良品での経験を経て独立。現在は広島を拠点に、住宅や店舗のリノベーション、セルフビルドサポートなどを行っている。地域資源を循環させる新しいホームセンター-RELAYS HOME CENTERを開業準備中。



CHIKUSKI (株式会社BOOK)
編集長 **馬場 健太氏**

key word #CHIKUSKI
#編集
#古材古道具

長崎県生まれ。福岡・田川を拠点に活動する編集者/ライター。学生時代から地域情報誌の制作に携わる。2019年に田川市に移住し、CHIKUSKIの企画・編集を担当。2021年より編集長を務め、2022年に「馬場健太編集事務所」を設立。古材や古道具を扱うRELAYS HOME CENTERを開業準備中。



緊張の 入塾式

参加者

27名

2025年、14期目を迎えた「田川飛翔塾」。田川地域の中学生27名が、いいかねPaletteに集まり、4日間の合宿がスタートしました。入塾式では、田川地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会の会長より、地域の未来を担う若者への激励の言葉が贈られました。その後、生徒の代表者

が「仲間と支え合いながら挑戦する」決意を力強く表明。オリエンテーションでは、互いを知るアイスブレイクやグループワークを通して、笑顔と緊張が入り混じる中、それぞれが飛翔塾での目標を掲げました。ここから始まる4日間の学びと挑戦に、期待が高まる初日となりました。



特別講義

田川で活躍する講師による

01



佐野 麻由子 氏

地域社会学-発見、分析、提言-
を実践的に学ぼう

弱みは視点を
変えれば強みになる。

佐野麻由子先生の講義では、「地域社会学」をもとに地域課題を発見し、分析し、提案へとつなげることを学びました。生徒たちは、自分たちの地域にある資源を五つに分けて整理し、そこから新しい価値を見つけ出す視点を学びました。「弱みは視点を換えれば強みになる」という言葉のもと、過疎や高齢化などをポジティブに捉え直す発想や、地域のつながりの大切さを実感する時間となりました。

02



中山 雄介 氏

グローバル社会を見据えた
地域活性化の可能性と、課題解決

目的を見失わず、
想いを形にする力。

中山雄介さんの講義では、Amazonやココ・コーラなど多彩な経歴を通じて、仕事や地域づくりに共通する「本質を見抜く力」を学びました。問題の根っこを掘り下げる姿勢や、「誰に何を届けたいのか」を徹底的に考える大切さが語られました。地元・福智町に新たな酒蔵を立ち上げた経験からは、地域の資源や人とのつながりを生かす挑戦の面白さが伝わってきました。挑戦を恐れず、自分の「したいこと」を信じて動くことの大切さを感じた時間でした。

03



藤永 哲嗣 氏

田川でeSportsを
仕事にしている理由

頼まれごとは、
きつと未来への
チャンス。

藤永哲嗣さんの講義では、eスポーツやプログラミングを足場に、田川の「遊ぶ場がない」「移動が不便」などの課題に挑む姿勢を学びました。大切なのは「ないなら作る」「できないならやってみる」。情報を集め、相手に寄り添い、段取りして自分が動くその連続が解決を呼び込む。ゲームとネットは地域と世界を結ぶ新しいインフラ。頼まれごとはチャンス！誰かを喜ばせる行動が次の学びと仕事を連れてくる。デジタルとアナログをつなぐ実践から、「自分たちの手で未来をつくる」感触を掴みました。



トークフォークダンス

田川の大人と対話の時間

にて無事終了！

夜のトークフォークダンスでは、田川地域で活躍する大人たちが「いいかねPalette」に集まり、生徒たちとじっくり対話をしました。好きな食べ物や趣味などの身近な話題から、「自分にとって大切なこと」「価値観について」といった少し深いテーマまで、会話の輪は広がっていきました。普段なかなか話す機会のない「家族や先生以外の大人」との対話に、最初は緊張していた生徒たちも、次第に笑顔で話す姿が見られ、互いに刺激と学びの多い、あたたかく前向きな時間となりました。

2DAY 8.19

体験活動を通して「課題解決」の方法を学び、行動し続けることの重要性を学ぶ。

ゲームを通して育てる友情とアイデア!

チームビルディング 仲間を知り、チームになる時間。

チームビルディングでは、紙だけを使ってタワーを作るワークに挑戦。制限時間の中で意見を出し合い、役割を分担しながら試行錯誤しました。協力の大切さや、行動する勇気を学ぶ時間となりました。



課題解決グループワーク



2日目は、馬場健太さんと藤井友貴さんを講師に迎え、「RELAYS HOME CENTER(リレイズホームセンター)」の開業をテーマに、課題解決型のグループワークを実施しました。舞台は実際に開業予定の「猪位金幼稚園跡地」。生徒たちは、クライアント役の講師に質問を重ねながら、事業の背景や地域の課題を掘り下げ、自分たちなりのアイデアを形にしていきました。午後は、午前中に得た情報をもとに「キャッチコピー」「商品・サービス」「お店づくり」の3テーマでグループごとに企画を制作。最後の発表では、それぞれのチームが個性あふれる提案を発表し、講師から講評を受けました。「問いを立て、考え、行動する」というプロセスを通して、参加者それぞれが「地域にあるリアルな課題に向き合う力」を体感した一日となりました。

01 事業説明&インプット

RELAYS HOME CENTERの構想や地域の課題について講師の馬場さん・藤井さんからご説明いただきました。

02 ヒアリング&アイデア検討

講師をクライアント役に見立て、質問を通して課題を深掘り。グループで意見を出し合いながらアイデアを整理。

03 アウトプット制作&発表

看板や商品アイデア、お店づくりのプランをまとめ、発表。講師から講評を受け、気づきを共有しました。

対話の時間

午後は、地域で活躍する大人たちと語り合う「対話ワーク」を実施しました。将来の夢や今の自分について話す中で、生徒たちは「自分の考えを言葉にすること」の大切さを実感。「なぜそう思うのか」を掘り下げながら、自分の内側にある価値観や強みに気づいていきました。普段は出会えない大人との対話は、将来を考えるきっかけとなり、翌日の作文づくりへとつながる貴重な時間となりました。

問いがつながり
想いが動き出す。



気づきが
行動の
原点になる

見つける力が、考える力へ。
考える力が、動く力へ。

3日目は、本塾のコーディネーターも務める北敢さんによる「課題の見つけ方ワーク」を実施しました。中学校生活をテーマに、自分や周囲の人が感じる“不便”や“モヤモヤ”を出し合い、そこから本質的な課題を見つけ出すワークです。「課題は自分の外ではなく、自分の中にもある」という北さんの言葉をきっかけに、生徒たちは他者の立場に立って考える大切さに気づきました。付箋を使って意見をまとめるうちに、チームごとに対話が深まり、中学校をより良くするためのアイデアも次々に誕生。自分たちの身近な環境から“できること”を見つけ出す体験は、生徒たちにとって社会を前向きに捉えるきっかけとなりました。

課題解決グループワーク



①導入・アイスブレイク

「いいかねPaletteのいいところ」「田川の好きなところ」などをテーマに付箋ワーク。発想を広げ、チーム名を決定。

⑤ワーク03:課題の優先順位/選定

「自分達が解決したい課題」をグループで選び、TOP5を決定。

②インプット:課題とは何か

「環境と価値観」「わたしでもできるのかもしれない」という視点を共有。社会を変える主体としての自覚を促す。

⑥ワーク04:理想と解決策の具体化

5WIHを使ってアイデアを具体化。現実的で自分たちでも実現できる方法を考える。

③ワーク01:課題の洗い出し

生徒・先生・保護者など関係者ごとに「中学校の課題」を付箋で整理。

⑦発表・フィードバック

A3用紙をスライドに見立てた“アナログプレゼン”を行い、全員で共有。

④ワーク02:他者視点での再考

他の立場から同じ課題を見直し、新しい原因や視点を発見する。

●プレゼン作成

生徒たちがグループで発見した「中学校の課題と解決策」を、人に“伝わる形”にまとめるためのプレゼンテーション実践。プレゼン=贈り物という考え方を軸に、「相手に届ける」意識や表現力を育て、学びをかたちにする時間でした。

プログラムも
いよいよ大詰め!
あとは発表のみ!

作文ワーク プレゼン作成

●作文ワーク

3日間の学びを振り返り、活動を通して感じたことや気づきを言葉にまとめる作文講座。「書くこと=自分を見つめること」として、経験を整理し、成長の実感を深める時間でした。自分の想いを文章にすることで、学びを“未来への行動”へとつなげます。



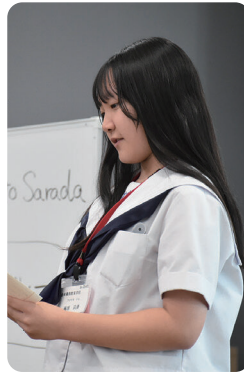
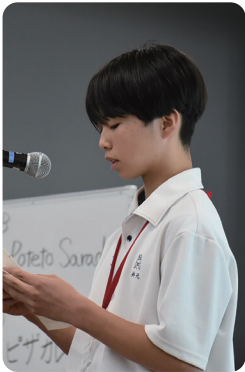
4DAY 8.21 THU

田川飛翔塾を経て 自分はどうなりたいのか

今までの学びを繋ぎまとめる

4日目は、3泊4日の集大成となるプレゼンテーション+個人発表&卒塾式の日でした。生徒たちはこれまでのワークで学んだ「課題発見」「解決策の検討」「伝える力」を生かし、テーマ「私たちが考える理想の中学校～中学校をさらに良くするには～」について、グループごとに発表を行いました。発表では、課題の背景や原因を整理し、自分たちの体験に基づいた解決策を提案。ユニー

クなアイデアやリアルな視点が光り、会場からは驚きと共感の声があがりました。また、個人発表では「飛翔塾で成長したこと」を一人ひとりが言葉にし、この4日間の経験を自分の言葉で振り返りました。保護者や地域の方々が見守る中、生徒たちは緊張しながらも堂々と発表をやり遂げ、「仲間と学び合うことの楽しさ」「挑戦する勇気」を胸に卒塾を迎えました。



Thank you

3泊4日で関わってくれた
大人の方は計36名
ボランティアとして
「田川飛翔塾」を通じて
田川の中学生のために
活動をしてくださいました。

卒塾式



4日間の学びを経て「これから自分はどう生きたいか」を一人ひとりが見つめ直しました。課題解決のワークや仲間との対話を通して、自分の得意や弱さに気づき、将来への思いを言葉にする姿が印象的でした。この飛翔塾で新しい自分を見つけた人、かけがえない仲間を得た人もいるでしょう。真夏の田川で過ごしたこの時間は、きっといつの日か、壁にぶつかったときの支えになるはずです。中学生という一度きりの夏に、自分と未来を真剣に見つめた経験が、それぞれの人生の大きな糧となりますように。



● 塾生に聞いた今回の研修の点数

File.01

89点

自分から積極的
に行動する。
発表とかにもっと
工夫できたから。

File.02

100点

人の目を見て
しっかり聞く。
頑張れたから。

File.03

90点

分からないことは
すぐに聞けるようにしたい。
大変だったけど学べた。

File.04

95点

自分の強みを感じる
ことも多かったけど、
北先生や中学生と話して
弱みや課題も見つかったから。

田川飛翔塾を通して
生徒たちの自己評価

96.2点

生徒一人ひとりがこの4日間のプログラムを通
して、確かな成長を遂げたことが感じられまし
た。多くの生徒が「積極的に発言できた」「仲間と
協力できた」「自分の強みを見つけれられた」と答
え、学びを自分の言葉で振り返る姿が印象的で
した。また「もっと良くできた」「次はこうしたい」
といった前向きな声も多く、成長への意欲が芽
生えていることも大きな成果です。この経験が
「挑戦することの楽しさ」や「仲間とつくる学びの
力」を実感するきっかけとなり、今後の学校生活
や将来へとつながっていくことを願っています。

File.05

100点

積極的に意見を
出したり質問をする。
5つの目標を
達成することができたから。

File.06

80点

相手の気持ちを考え、
やってほしいことはないかな
と考えながら行動する。
目標で掲げたことを
すべて叶えられなかったから。

File.07

100点

話し合いの中で自分の
意見も言えるように頑張る。
友達もでき、自分の
いいところ、悪いところを
見つけて有意義だった。

File.08

85点

質問をたくさんする。
最後の方で質問や
発言がきちんとできたから。

File.09

98点

自分からなんでもする！
残りの2点は居眠りです。
それ以外は自分の
なかでよくできました。

File.10

120点

具体的に話す、
相手の立場になって物事を考える。
自分のMAXを
超えることができたから。

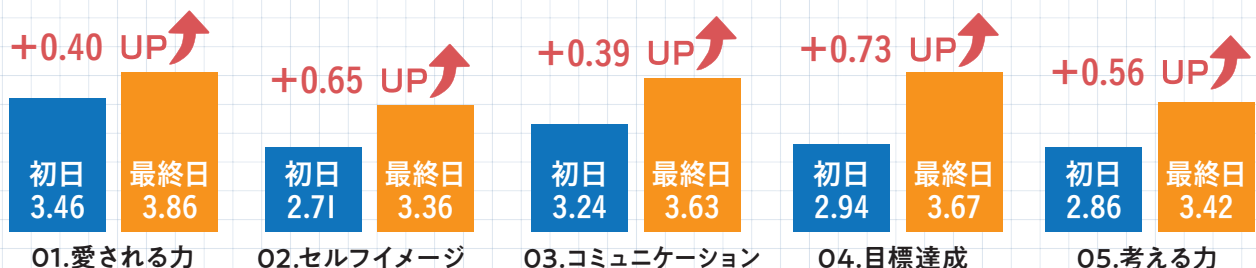
● アンケート結果

参加生徒がプログラムを通してどのような力を向上させることが
できたかを把握するため、以下の通りアンケートを実施しました。

アンケート 実施方法 01	アンケート 実施方法 02	アンケート 実施方法 03
プログラムの 初日と最終日に 同様の質問に 回答してもらう。	5項目について 参加前後で 向上するか どうかを調査。	各項目に対し 4つの質問で 構成して 1~4の4段階 で評価する。

5項目の質問内容

- 01.愛される力 何かしてもらったらすぐに感謝の言葉を伝える
- 02.セルフイメージ 自分の長所や強みについてよく分かっている
- 03.コミュニケーション 話を聞き、自発的に質問、意識してうなずいて聞いた
- 04.目標達成 難しいことは自ら積極的に、素直に助けを求める
- 05.考える力 新しい企画やアイデアを生み出すことが好きだ





仲間と出会う。 挑戦する心が、 田川を動かす。

2025年、田川飛翔塾は14期を迎えました。

会場は田川市にある「いいかねPalette」。

田川地域の中学生たちがたくさん集い

大いに語り合い、笑い合った4日間。

驚きや発見、そして心揺さぶる

出会いが、たくさんありました。

中学生たちのまっすぐな姿に、

大人たちもたくさんの気づきをもらいました。

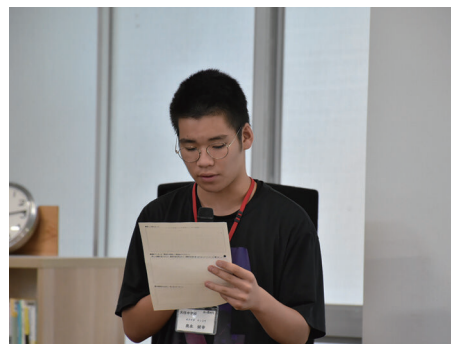
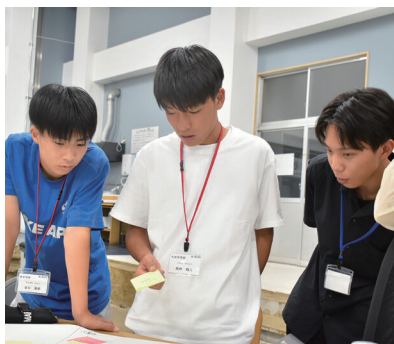
この夏、この経験が、未来へ向かう

道のどこかで優しく、そして心強く

寄り添ってくれることを願っています。



田川飛翔塾



Project
Details

● プログラム企画・運営・報告書作成
一般社団法人 Local Education

Instagram



Local
Education
ホームページ



(一社) Local Education
代表理事 北 敢

2024年3月に福岡県で創業したLocal Educationは、現役高校教員によって設立された「地域の教育」を担っていく法人です。「すべての人が『自己決定』できる社会」を目指し、地域に根差した教育を推進し、大人から子供まですべての人たちの可能性を最大限に引き出します。キャリア教育事業として、自治体からの業務委託としてキャリア教育を推進したり、地元企業の若手社員向けの研修会なども実施をしています。

